

令和8年10月22日

保護者各位

札幌市立西園小学校  
校長 柴田 博人

## 2026年度全国学力・学習状況調査の結果について

今年度4月に6年生を対象として「全国学力・学習状況調査」が行われました。8月に札幌市の調査結果の概要が公表され、それを受けまして本校の結果を分析しましたので、ご報告いたします。今後の教育活動を見直し、改善を図っていきたいと考えております。ご家庭でも、お子さんの学習や生活の充実の参考としてください。

### 分析結果(全国平均との比較)

#### (1) 学習や生活の状況についての質問紙から

※児童への質問の回答について、本校児童と全国の傾向を比較した中で、特に本校児童の特徴が表れている項目を抜粋しました。

《自分自身・学校生活に関して》

##### 肯定的な回答が多かったもの

- ・先生はよいところを認めてくれている
- ・人が困っているときは進んで助けている
- ・学級会で話し合い、意見を生かして解決している
- ・道徳で考えを深めたり話し合ったりしている

##### 肯定的な回答が少なかったもの

- ・将来の夢や目標をもっていますか。
- ・学校の授業時間以外に1日当たりどのくらいの時間勉強しますか。
- ・学校が休みの日にどのくらいの時間勉強しますか。

今回の児童質問紙の結果から、本校の児童は自己肯定感や他者への思いやり、人との関わりにおいて非常に良好な傾向が見られました。特に、「先生は自分のよいところを認めてくれている」「困っている人を進んで助けている」「友達関係に満足している」といった項目では全国平均を上回り、多くの児童が安心して学校生活を送り、自分や友達を大切にしながら生活していることが見えてきました。また、学級活動において話し合ったことを実際の生活の改善に生かしているという回答も全国平均を大きく上回っており、児童が主体的に学校生活づくりに参加している様子が見られます。さらに、ICT機器を活用した情報収集やプレゼンテーション資料の作成についても全国平均を上回っており、学習場面でICTを活用する力が着実に育っていることが分かりました。



一方で、課題としては「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童の割合が全国平均を下回っていたことや、家庭学習時間、読書習慣に関する項目で全国平均より低い傾向が見られました。学力の向上や将来への見通しを育てるためには、学校と家庭が連携しながら継続的に支援していくことが大切かと思えます。

学校では、キャリア教育の充実を図るため、地域の人材や市役所の方などゲストティーチャーを招いて、職業について学ぶ機会を設けます。自分のよさや可能性に気付く活動を取り入れることで、将来への目標や夢を具体的に描けるような活動をしていきます。また、朝読書の促進、読書に親しむ機会を増やすなど読書活動を充実させていきます。

ご家庭においても、学習時間の確保だけでなく、その日の出来事や学習内容について会話をしたり、一緒に読書をしたりすることが、学習意欲や読書習慣の定着につながります。また、子どもたちのよさや努力を認め励ますことは、自信を高め、将来への希望や目標を育む大きな力となります。

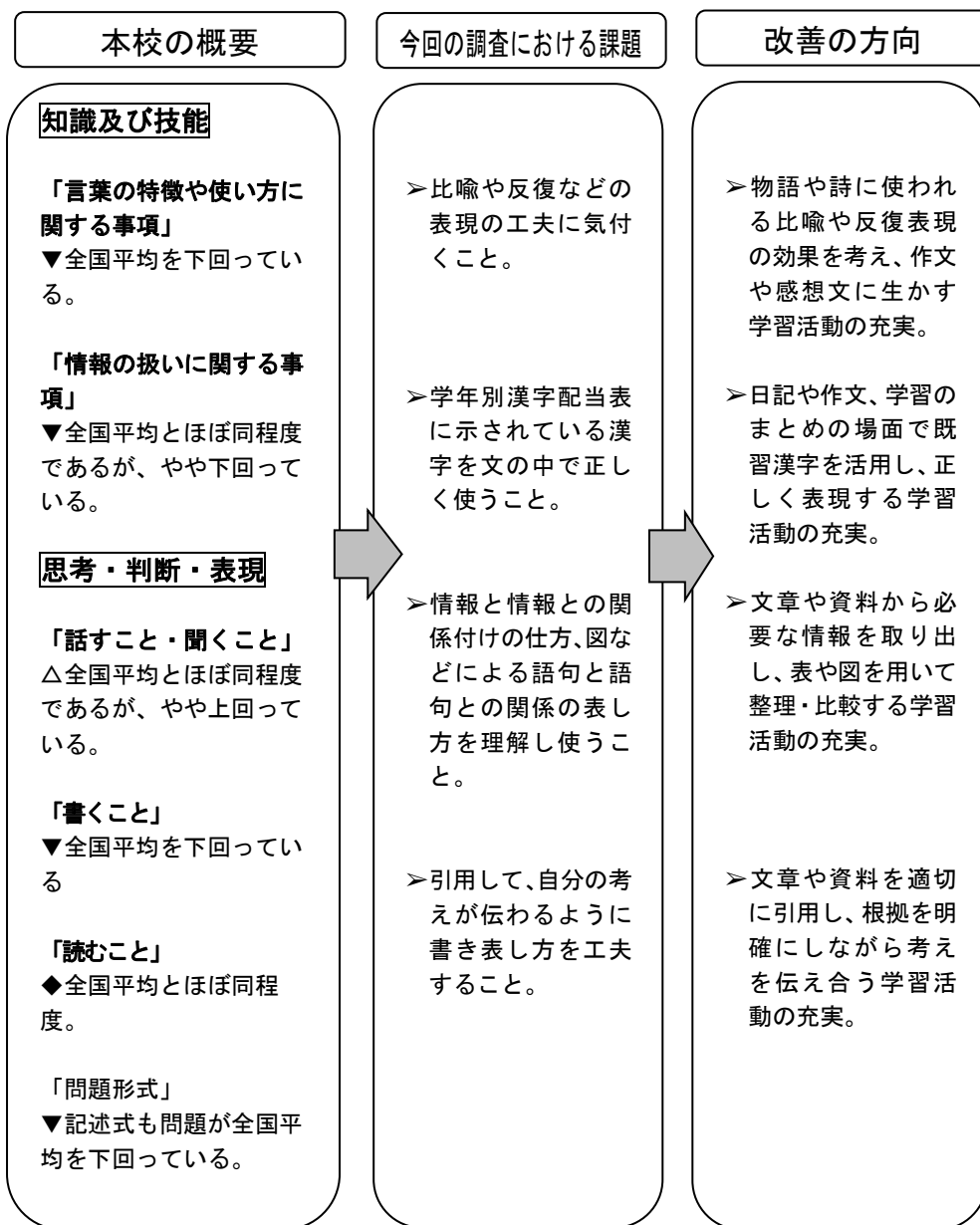
これからも学校と家庭、地域と連携しながら支援していければと思います。

裏面の「教科に関する調査」結果もご覧ください



## (2)「教科に関する調査」の分析結果と改善の方向について

### 【国語】



### 【算数】

